



報道機関各位

### 資料提供

令和2年9月8日  
課名：イノベーション推進チーム  
担当者：長谷川（達）  
内線：3353  
直通電話：082-513-3353

## インド最大のインキュベーション施設「T-Hub」と パートナーシップを日本の自治体で初めて締結！ ポストコロナ時代における新領域の事業創出プログラム 「Road to Shine」の参加企業の募集開始！

第1弾連携事業 募集期間：令和2年9月8日～11月末日

### 1 T-Hubとのパートナーシップの締結(日本の自治体初！)

広島県は、イノベーションの源泉であるスタートアップの創出を強力に進めていくこととしており、本年7月、内閣府から、「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」として選定されました。今後は、海外のスタートアップ拠点等との連携も推進することとしています。

この度、州政府と地元大学等（インド工科大学ハイデラバード校等）の支援を受けて設立されたインド最大級のスタートアップ・インキュベーション施設「T-Hub」とパートナーシップを令和2年6月24日に締結し、第1弾の連携事業として、広島・インド共同プログラムのワークショップを開催いたします。これにより、日印のスタートアップ企業等とマッチング等を進めていきます。

是非とも、インド最大級のスタートアップ・インキュベーション施設 T-Hub と県の取組について周知・取材いただきますようお願いいたします。

### 2 連携事業の概要

インドで選抜されたインドチームと参加企業でタッグを組み、これからの人と物の移動をテーマに未来の社会のあり方について、ワークショップを開催します。

- テーマ：モビリティをテーマにワークショップ形式で開催
- 募集企業数：3社程度（各社3名程度で構成されるチーム形式）
- 開催場所：イノベーション・ハブ・ひろしまCamps  
(広島市中区紙屋町1-4-3 エフケイビル1F)
- 言語：日本語・英語  
※ 英語は必須ではありませんが、通訳の有無に関わらず最低限のコミュニケーションができるよう、少なくとも1名は英語が話せる方がいた方が望ましいです。
- 応募期間：～令和2年11月末日
- 申し込み方法：広島県ホームページより（申込フォームはチラシを参照）

### 3 ワークショップの予定(広島開催)

- ◆ 2021年1月12日（火） プレセッション「なぜいま広島×インドなのか」（1日間）
- ◆ 2021年2月15日（月） チームアップ/自社資源の捉え直し
- ◆ 2021年2月16日（火） デジタル・トランスフォーメーションを考える
- ◆ 2021年2月17日（水） 未来の暮らしのビジョンと機会領域の研究
- ◆ 2021年2月18日（木） ビジョンとアイデアの策定
- ◆ 2021年2月19日（金） 最終発表会

※詳しくは、広島県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/ques/questionnaire.php?openid=1282>

## 4 プログラムの目的等

新型コロナウイルスにより世界が大きな変化を余儀なくされる中、ポストコロナにおける新たな事業機会も生まれています。こうした中で、今後は、特に、デジタル技術は来るべき社会の価値創造に欠かせない役割を担うことが予想されます。

本プログラムでは、GAFA(Google,Apple,Facebook,Amazon)などグローバル企業に多数の人材を輩出するIT 大国インドの優秀なスタートアップや学生とともに、既存の事業分野を起点に考えるのではなく、未来の社会を創り出す新領域の事業創出を構想するワークショップを開催します。イノベーション（新たな価値創造）を通じて競争力を高めようとする成長意欲の高い企業が、デジタル技術を活用した新たな事業創造の思考プロセスなどを体得できる絶好の機会となります。

### 【参考】

#### ○「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」とは

：内閣府が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等のコンソーシアム(当地域は、「地域イノベーション戦略推進会議／代表 広島県知事 湯崎英彦」)に対して、拠点形成を認定するもので、「グローバル拠点都市」が4か所、それに準じる「推進拠点都市」が4か所認定され、当地域は「推進拠点都市」に認定されました。

<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20200714.html> (内閣府プレスリリース)

#### ○インド最大級のスタートアップ・インキュベーション施設「T-Hub」とは

：世界屈指のIT企業がこぞって研究所を設けているバンガロールに続く、インド第2のITキャピタル（首都）とも言われるハイデラバードにあり、インド中から選ばれたスタートアップが、世界中の企業や投資家と出会い、協業へと進んでいます。

# ROAD TO SHINE

広島・インド共同ワークショップ・プログラムのご案内



AI や IoT の分野で世界でも有数の IT スキルを持つインドのグローバル人材とともに、  
これからの社会と産業のあり方を考えてみませんか。 **テーマ：モビリティ**

## 応募対象 企業

- 募集企業数：3社程度
- 参加形態：各社3名程で構成されるチーム形式
- 言語：日本語・英語  
※英語は必須ではありませんが、通訳の有無に関わらず最低限のコミュニケーションができるよう、チーム内に少なくとも1名は英語が話せる方がいらっしゃることを望ましいです。
- 主な形式：ワークショップ

## 申し込み 方法

応募期間：2020年11月末日まで  
広島県ホームページの申込フォームよりお申込ください。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/ques/questionnaire.php?openid=1282>



## PART 1

### R2S イノベーション・チャレンジ (インド開催)

インドでも有数のスタートアップのインキュベーション施設「T-HUB」(本拠地:テランガナ州・ハイデラバード市)にて、インドにおける「人と物の移動」をテーマとしたイノベーション・チャレンジを開催。

二度のオンライン・ワークショップとメンタリングを経て、最終的に3つのインドチームを選抜します。

選抜チームは、来春広島で開催するR2Sワークショップにて、本プログラムの参加企業とともに、新たなソリューションを考案していきます。

- ◆ 2020年11月 一次選考会
- ◆ 2020年12月 二次選考会・入賞者発表

対象

T-Hubネットワークに所属する工学部専攻の  
大学生・卒業生、アーリー・スタートアップ

年齢

30歳以下



## PART 2

### R2S 新領域の事業創出ワークショップ (広島開催)

参加企業1社ごとにインドからの入賞者1名とタッグを組み、これからの人と物の移動をテーマに課題の定義からソリューションのプロトタイプ、発表(デモデー)までを集中的に行います。

- ◆ 2021年1月12日(火) プレセッション「なぜいま広島×インドなのか」(1日間)
- ◆ 2021年2月15日(月) チームアップ/自社資源の捉え直し
- ◆ 2021年2月16日(火) デジタル・トランスフォーメーションを考える
- ◆ 2021年2月17日(水) 未来の暮らしのビジョンと機会領域の研究
- ◆ 2021年2月18日(木) ビジョンとアイデアの策定
- ◆ 2021年2月19日(金) 最終発表会



主催

広島県商工労働局イノベーション推進チーム  
電話：082-513-3353  
メール：syoinnov@pref.hiroshima.lg.jp

企画  
運営

株式会社リ・パブリック  
株式会社インフォブリッジマーケティング&プロモーションズ

# ROAD TO SHINE

## テーマ：モビリティ

### アフターコロナ： 決定的なデジタルトランスフォーメーション時代が訪れた

2020年。私たちはこれまでに想像しなかったような年を迎えるに至りました。中国の一つの都市からはじまった新たなパンデミックは、産業から市民社会に至るまで、ありとあらゆる局面で大きな影響を及ぼしています。

パンデミックはこれまでも数年に一度のペースで発生してきました。SARS（2003年）やMERS（2012年）なども、アジアや中東を中心に多大な影響を及ぼしました。しかし新型コロナウイルスはそれらの感染力をはるかに上回り、いまや全世界で感染者数は600万人以上、死亡者数は40万人近くにも上ります（5月末現在）。

新型コロナウイルスが産業界にもたらした破壊的な影響については枚挙に遑がありません。しかし、その存在はまた、この20～30年にわたって飛躍的に成長したデジタル技術・サービスがいかに私たちの生活に不可欠な存在であるかをまざまざと実感させました。思えばSARSが発生した2003年には、iPhoneはまだこの世に出回っていませんでした（販売開始は2008年）。スマートフォンとアプリを介して「指1本で提供される」日用品や日々の食事、映画や音楽、商品やサービスの数々は、自宅で長時間待機を迫られた私たちの生活をあらゆる側面で下支えしています。日用品や食品、医療品などの物資は私たちの暮らしを支える上で必要不可欠です。かたや自動車の売れ行きは全世界的に落ち込みました。20世紀の街と産業を彩った一大産業は一つの転換点を迎えています。

これからはオンラインとオフライン、いずれかではなく、いずれもが隙間なく統合され、提供されるOMO（Online Merges Offline: オンラインとオフラインの双方が補完的に存在する状況）が加速していきます。オンラインとオフラインがなめらかに繋が合うことで顧客により優れた価値や体験を提供できる産業構造やビジネスモデルが今後ますます求められるでしょう。同時に部品や材料を一箇所に集めて生産し、また世界へと分散させていく20世紀型の大量生産を基本としたサプライチェーンモデルも、大きく変化を遂げることが予測されます。



### デジタルトランスフォーメーション最先端の国・インドとの共同プロジェクト

こうしたデジタルトランスフォーメーションは、広島産業界の未来にどう影響していくのでしょうか。

多くの企業にとって変化の波は止められないものの、どこから始めたら良いのか、という思いもあるでしょう。市場調査、研究開発、人材育成など、変化にはさまざまな投資や選択を迫られますが、多くの企業には個別具体的に対策を講じる余裕はありません。

そこで、広島産業界とデジタルトランスフォーメーションをより本質的に捉えて行動すべく、デジタル分野において第一線を走るインドとの共同プログラムを企画するに至りました。

グローバル企業を見れば、グーグルやマイクロソフト、アマゾンなど、多くの企業のCEO・CFOがインドから輩出されています。また、「GAFA」と呼ばれる企業のIT人材の多くもインド出身です。さらにスタートアップ業界では、ユニコーン企業（評価額10億ドル以上の未上場のスタートアップ企業）の数は世界第3位。日本でも普及し始めたPayPayに用いられているQRコード決済技術やホテル業界に革新をもたらしたオヨ・ルームなど、デジタルサービスのインフラ構築はインドとその人材抜きには語ることはできません。

また、インドは今や世界有数のデジタルトランスフォーメーション大国です。人口13億人の生体認証に基づいた国民総番号制度も整備を終えています。これにより、銀行口座を持たなかった貧困層に政府が一律に給付金を配布するなどの対策を講じることが可能になりました。

今回のプログラムは、こうしたデジタルトランスフォーメーションをごく短期間の間に経験し、自らこの領域を牽引するインドのIT人材と共に、広島にいながらにしてアフターコロナの社会を考えていく絶好の機会です。

ヘルスケア、交通、物流、製造、教育、不動産。ありとあらゆる人や物の動きかたが変わる今、すべての産業が転換点にいても過言ではありません。これからの人とモノの移動はどのように変化していくのでしょうか？そしてオンラインとオフラインを融合させながらモノやサービスをどのように作り、届けていくことが望ましいのでしょうか？

本プログラムでは、日本からは想像できない大国・インドのモビリティ事情（人とモノの移動）を、コロナによる影響を受けた最新状況も踏まえ、インドのIT人材と共に読み解き、創造の翼を広げていきます。

この秋、ぜひこの機会を逃すことなく、未来の社会とソリューションのあり方について考えてみませんか？  
御社の参加をお待ちしています。

参考：令和2年8月28日資料提供済

## 資料提供

令和2年8月28日  
課名：イノベーション推進チーム  
担当者：長谷川（達）  
内線：3353  
直通電話：082-513-3353

報道関係者各位

～SDGs 達成の鍵は『想像力』と『創造力』に富んだ人材育成！  
日本の低成長時代を打ち破るための、唯一無二のビジネススクール～  
**ソーシャル・イノベーション・スクール in 広島**  
令和2年10月23日 イノベーション・ハブ・ひろしま Camps に関校

広島県と一般社団法人 Creative Response（東京都千代田区、代表理事：<sup>よねくら せい いちろう</sup>米倉 誠 一郎）は、ソーシャル・イノベーション・スクール東京校に次ぐ、国内第2校目を広島に関校します。講座では各分野最高峰の専門家らが登壇し、受講者らと直接対話を進めることにより、ソーシャル・イノベーションの開発と実践を支援します。

### 広島校開校の思い(代表理事：米倉誠一郎／略歴は別紙チラシ)

時代が変な方向に進んでいる現在、広島は世界平和にとって大切な都市です。愚かな過ちを繰り返さない誓いの都市だからです。しかし、過去を語り継ぐだけでなく、広島から未来を語りたい。だから、社会的課題をイノベーションで解決する学校を開校します。ビジョンは「世界に日本があつてよかったと感謝される国造り」、ミッションは「ソーシャル・イノベーションを実現する想像力と創造力に富んだ人創り」です。志ある諸君の参加を待っています。

## 1 講座概要等

詳細は別紙チラシのとおり

## 2 一般社団法人 Creative Response の概要

21世紀に入り、日本はかつての経済大国としての役割から、世界の持続的成長を担う必要と責任が明確になってきました。日本は経済・政治大国ましてや軍事大国としてではなく、これまで培ってきた技術力や国際協力ノウハウを駆使してSDGsを実践し、イノベーション立国という役回りで世界から尊敬を得るべきだと考えます。CR-SIS（クリエイティブ・レスポンス・ソーシャル・イノベーション・スクール）はソーシャル・イノベーションを推進する人材育成を主な事業とします。SDGs達成の鍵は想像力と創造力に富んだ人材育成にかかっています。

本校は、東京大手町・丸の内・有楽町（大丸有）において、ビジネスの知見に豊かなビジネスマンと社会的課題の知見に優れたNPO/NGO人材を一堂に集め、ソーシャル・イノベーションの開発と実践を切磋琢磨の中から実現することを目的に設立されました。

- ・所在地：〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
- ・設立：令和元年12月26日
- ・代表理事：米倉 誠一郎
- ・事業内容：ソーシャル・イノベーションを推進する人材育成講座の提供
- ・URL：<https://web.cr-sis.com/>

## 3 問い合わせ先

広島県商工労働局 イノベーション推進チーム（TEL：082-513-3353）

「未来を創造しよう」と驚く方法で、  
in 広島



2020年10月23日開校!

CREATIVE RESPONSE

ソーシャル・イノベーション・スクール

主催  CREATIVE RESPONSE  
SOCIAL INNOVATION SCHOOL

共催  広島県

協賛

 三菱地所

 日世株式会社

 三菱食品

 もっとわくわく!  
あなぶきグループ

 前田建設  
MAEDA

 takagi  
水をデザインする。

 TOPCON

 ELECOM  
LIFESTYLE INNOVATION

Francfranc

FiNC Technologies

 アイリスオーヤマ

# 広島開校宣言

時代が変な方向に進んでいる現在、広島は世界にとって大切な都市です。

愚かな過ちを繰り返さない誓いの都市だからです。しかし、過去を語り継ぐだけでなく、広島から未来を語りたい。だから、社会的課題をイノベーションで解決する学校を開校します。ビジョンは「世界に日本があつてよかったと感謝される国造り」、ミッションは「ソーシャル・イノベーションを実現する想像力と創造力に富んだ人創り」です。志ある諸君の参加を待っています。

CR-SIS 学長 米倉 誠一郎

一橋大学 名誉教授

法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授

一橋大学社会学部および経済学部卒業。同大学大学院社会学研究科修士課程修了。

ハーバード大学Ph.D.(歴史学)。2008年より2012年まで同センター長。2012年よりプレトリア大学ビジネススクール(GIBS) 日本研究センター所長を兼務。2017年より一橋大学名誉教授・一橋大学イノベーション研究センター特任教授、法政大学大学院教授。



米倉 誠一郎



## 特別顧問 (学校全体の理念や方針を協議する方々)

伊藤邦雄(一橋大学名誉教授) / 出雲充(株式会社ユーグレナ代表取締役社長) / 小林喜光(三菱ケミカルホールディングス取締役会長・元経済同友会代表幹事) / 隈研吾(建築家) / 野中ともよ(GAIA Initiative代表) / 山海嘉之(筑波大学教授・CYBERDYNE 社長/CEO) / 洪澤健(コモンズ投信取締役会長) / 鈴木寛(東京大学・慶應義塾大学教授・日本サッカー協会理事) / 滝川クリステル(一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル 代表理事) / Dr. Atiur Rahman(ダッカ大学教授・元バングラシュ中央銀行総裁) ※ABC順

## どんなことをする学校?

CR-SISはソーシャル・イノベーションを推進する人材の育成を主な事業とします。SDGs達成の鍵は想像力と創造力に富んだ人材育成にかかっています。本スクールは、東京大手町・丸の内・有楽町において、ビジネスの知見に豊かなビジネスマンと社会的課題の知見に優れたNPO/NGO人材を一堂に集め、ソーシャル・イノベーションの開発と実践を切磋琢磨の中から実現することを目的に設立されました。そして、この度CR-SIS全国展開第一弾とし広島にて開催いたします。

## 参加者の声

- みなさんの意識の高さに触発されると共に焦りを覚えた。
- とても感動した。久しぶりに感動で涙が出そうになった。本当に素晴らしい講義をありがとうございました。
- 視野を広げ、色んな角度から物事を捉え、思いつき、ひらめきの力を信じて探求することがイノベーションを起こす為には大切であると講義を受けて実感した。
- 自社のビジネスを見直すいい機会になった。今のビジネス自体を見直すアクションが急務であると感じた。
- 今すぐ結果が見えなくても、将来的に社会貢献に繋がることであれば行動に移すことが大事だと改めて考えさせられた。

## ソーシャル・イノベーション基本講座 in 広島

企業のCSR/SDGsおよび事業戦略・ブランド戦略を担当している層・ソーシャルビジネスで起業を考えている層を対象に、SDGsやCSVが21世紀の企業経営にとってなぜ重要なのか、また本業・収益事業と両立しうる概念なのかなどについて、各分野最高峰の専門家から基本的理論講習を行います。SDGsを推進する企業の基本的理論武装とビジョン背景を網羅的に学ぶ講座です。

[期間] 2020年10月23日～3月30日 19～21時 ※合宿を除く

[受講料] 165,000円(税込) ※合宿参加費別途

[定員] 20人

[会場] イノベーション・ハブ・ひろしまCamps, Zoom, YouTube

[共催] 広島県

## [講義スケジュール](予定)

10/23 ①	入学式(オンライン)
10月 ②	ソーシャル・イノベーションとは 米倉誠一郎 ※広島開催
11月 ①	インパクト投資とは 機能聡子(ARUN合同会社代表)・米倉誠一郎(オンライン)
11月 ②	ESG投資とSDGs 洪澤健・米倉誠一郎(オンライン)
12月 ①	自然電力株式会社の実践 磯野謙(自然電力株式会社 代表取締役)・米倉誠一郎(オンライン)
12月 ②	SDGsの世界動向 西口尚宏(一般社団法人Japan Innovation Network代表理事)・米倉誠一郎(オンライン)
12月 ③	広島県に於けるソーシャルイノベーション 広島企業数社・米倉誠一郎 他 ※広島開催
12月 ④	途上国ニーズとイノベーション 小沼大地・米倉誠一郎 ※広島開催
1月 ①	イノベーションの理由上級編 武石彰・青島矢一・米倉誠一郎 ※広島開催
2月上旬 ①	直島合宿 スペシャルゲスト・米倉誠一郎
2月 ②	バングラデシュ・ロヒンギャ難民の衛生問題 Prajakt Khare・御治勇人(DOYA代表取締役)・米倉誠一郎(オンライン)
2月下旬 ③	卒業ピッチ合宿 青島矢一・島本実(一橋大学大学院教授)・米倉誠一郎
3月 ①	失敗の本質 山田真次郎・阪根信一・米倉誠一郎(オンライン)
3/30 ②	卒業式/卒業ピッチ 米倉誠一郎 ※広島開催

## こんな人に来て欲しい!

- 1 SDGs, CSR, ESG投資などを担当されている方。または、実践あるいは新規事業提案を考えている方
- 2 ソーシャル・ビジネスを立ち上げようとしている方
- 3 企業で研究開発やエンジニアリングを担当され、途上国等における社会課題をテクノロジーを通じて解決しようとしている方
- 4 講師陣からの暗黙知を共有し、独自のプランで世界を元気にしたいと思っている方
- 5 自ら未来を創造したい方

## 募集要項

[応募資格] 高校生以上(但し18歳未満の場合は親権者の承諾が必要) ※奨学金制度若干名あり [応募期間] 2020年8月30日(日)～9月30日(水) 20時締切



【東京オフィス】  
東京都千代田区有楽町 1-12-1 新有楽町ビル1006  
mail: info@cr-sis.com (CR-SIS事務局)

【広島県(イノベーション推進チーム)】  
tel: 082-513-3353 / mail: syoinnov@pref.hiroshima.lg.jp

<https://web.cr-sis.com/>

詳しい内容は公式サイトをご覧ください



イノベーションの力で社会課題を解決する